

Procrea Digest

プロクレアダイジェスト

2023年9月期 ミニディスクロージャー誌

(2023年4月1日～2023年9月30日)



プロクレアホールディングス

ねぶた制作：野村 昂史



取締役副社長
(株式会社青森銀行頭取)

石川 啓太郎

取締役社長
(株式会社青森銀行会長)

成田 晋

取締役副社長
(株式会社みちのく銀行頭取)

藤澤 貴之

ごあいさつ

皆さまには日頃より格別なお引き立てを賜り、まことにありがとうございます。

「2023年9月期ミニディスクロージャー誌 プロクレアダイジェスト」をお届けいたします。どうかご一読いただき、私どもプロクレアグループへのご理解を一層深めていただければ幸いです。

2023年度上期の青森県経済は、新型コロナウイルスの5類移行により経済社会活動への制約がほぼ解消されたことから、青森ねぶた祭を始め県内各地のイベントが4年ぶりに通常開催された他、県内外からの観光客増加により個人消費がコロナ禍前の水準に回復するなど広い範囲でコロナ禍からの脱却が進みました。世界各地での地政学リスク顕在化を背景としたエネルギー資源や原料の高騰、円安の継続等これからも留意するべき点はあるものの、総体として緩やかに回復しております。

2025年1月の青森銀行とみちのく銀行の合併、「青森みちのく銀行」の誕生まで、残り1年ほどになりました。

本年、私どもは青森ねぶた祭に大型ねぶたの運行団体として初参加いたしました。準備や運行、お囃子まで全てに両行職員が一致団結して取り組み、両行の組織融和とともにいよいよ「ワンバンク」へのカウントダウンが始まったような、象徴的なイベントとなりました。

両行合併に向けては、既に合併後の店舗統合計画を公表させていただいた他、両行で事業性融資のお取引をいただいているお客さまに対し一方の営業店が両行を代表して対応させていただく「主管店方式」の導入や、県内三市でのローン専門拠点の共同店舗化等、グループとしての全体最適に向けた取り組みを着実に進めております。

9月には、経営統合以降、グループとして課題としてまいりました「公的資金の返済」を1年前倒しで実施いたしました。

今後も経営資源を合併及び成長戦略に集中させ、両行合併の完遂とともに、シナジーの早期創出と効果の最大化を強力に推し進めてまいります。

プロクレアグループはこれからも「地域の未来を創る」「お客さまと歩み続ける」「一人ひとりの想いを実現する」という経営理念のもと、地域やお客さまの「彩り豊かな未来」の創造に向けてグループ一体となって取り組んでまいり所存でございます。引き続き、変わらぬご支援とお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

取締役社長 城田 晋



挑む。超える。ともに創る。

プロクレア
ホールディングス

プロフィール (2023年9月30日現在)

商号	株式会社プロクレアホールディングス (英文名称: Procrea Holdings, Inc.)
設立日	2022年4月1日
本店所在地	青森県青森市勝田一丁目3番1号
主な本社機能	青森県青森市橋本一丁目9番30号
事業内容	・銀行および銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに付帯関連する一切の業務 ・その他、銀行法により銀行持株会社が行うことができる業務
資本金	200億円
営業店舗数	193 ※支店内支店(1つの店舗内で複数の支店が営業する拠点)、 ローン専門拠点、その他事務所を含む。
決算期	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場(証券コード:7384)

Contents

ごあいさつ	1~2
プロクレアホールディングスの概要	3
第1次中期経営計画基本戦略	4
事業領域拡大に向けた取り組み	5
サステナビリティ方針とSXへの取り組み	6
サステナビリティに関する取り組み	7~8
青森ねぶた祭特集	9~10
業績ハイライト(2行合算)	11~12
連結財務諸表	13
株式情報	14

プロクレアホールディングスの概要

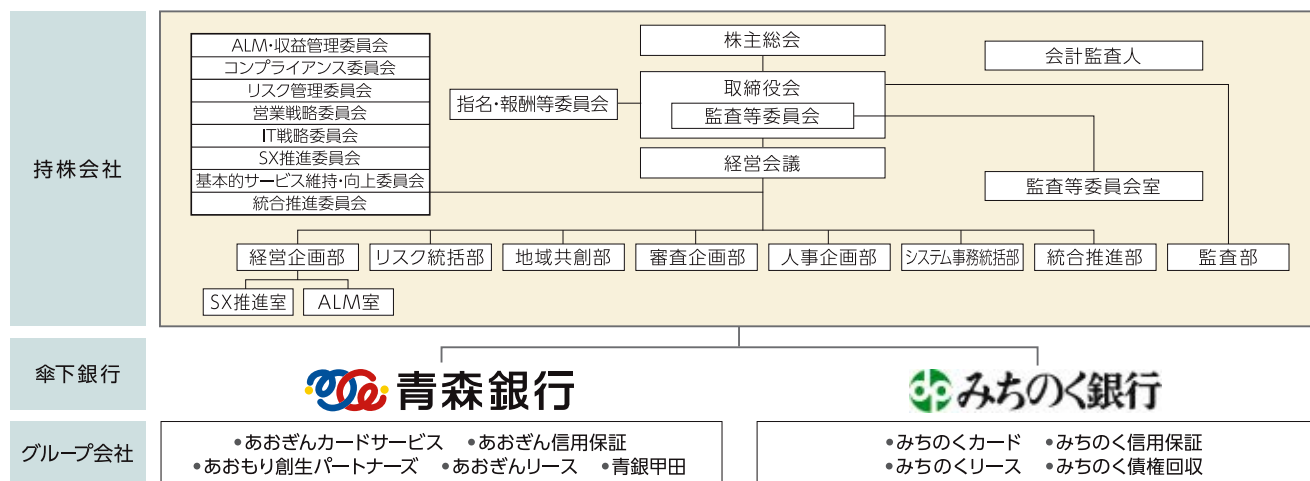
経営理念

- 「地域の未来を創る」
- 「お客さまと歩み続ける」
- 「一人ひとりの想いを実現する」

理念に込めた想い

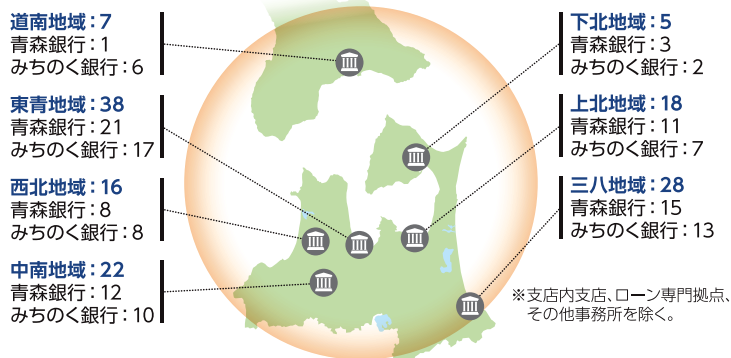
- ◆ 私たちは、健全性を堅持するとともに、地域の課題や可能性に積極的に挑戦することで、明るく豊かな未来を創ります。
- ◆ 私たちは、専門性を高めるとともに、期待を超えるサービスを追求することで、お客さまの信頼に応え、成長と発展に向けてともに歩み続けます。
- ◆ 私たちは、自主性を尊重するとともに、多様な個性を力に変えることで、自信と誇りに満ちたやりがいのある組織を築き、一人ひとりの溢れる想いを実現します。

組織図



主要拠点 (2023年9月30日現在)

青森県内から道南地域にかけて強い基盤を有しております。



拠点数 (2023年9月30日現在)

都道府県	青森銀行	みちのく銀行	両行計
青森県	70	57	127
東青地域	21	17	38
中南地域	12	10	22
三八地域	15	13	28
西北地域	8	8	16
上北地域	11	7	18
下北地域	3	2	5
北海道	2	7	9
岩手県	1	2	3
宮城県	1	1	2
秋田県	2	2	4
東京都	1	1	2
合計	77	70	147

第1次中期経営計画基本戦略

プロクレアホールディングス第1次中期経営計画

『挑戦と創造』

スローガン シナジーを早期に実現し、強固な経営基盤を構築する

経営
課題

金融サービスの
安定性と質の両立

地域産業の発展
地域住民の生活の向上

健全かつ持続的な
経営基盤の構築

基本
戦略

基本戦略Ⅰ

金融仲介機能の強化

- ① 伴走型コンサルティングの強化
- ② 金融サービス・ソリューションの強化
- ③ 専門性の多角化と深化
- ④ サービスのデジタル化

基本戦略Ⅱ

事業領域の拡大

- ⑤ 地域共創・総合商社モデルの構築

基本戦略Ⅲ

経営の合理化・効率化

- ⑥ インフラ等の効率化
- ⑦ 業務のデジタル化
- ⑧ 組織体制の効率化

基本戦略Ⅳ

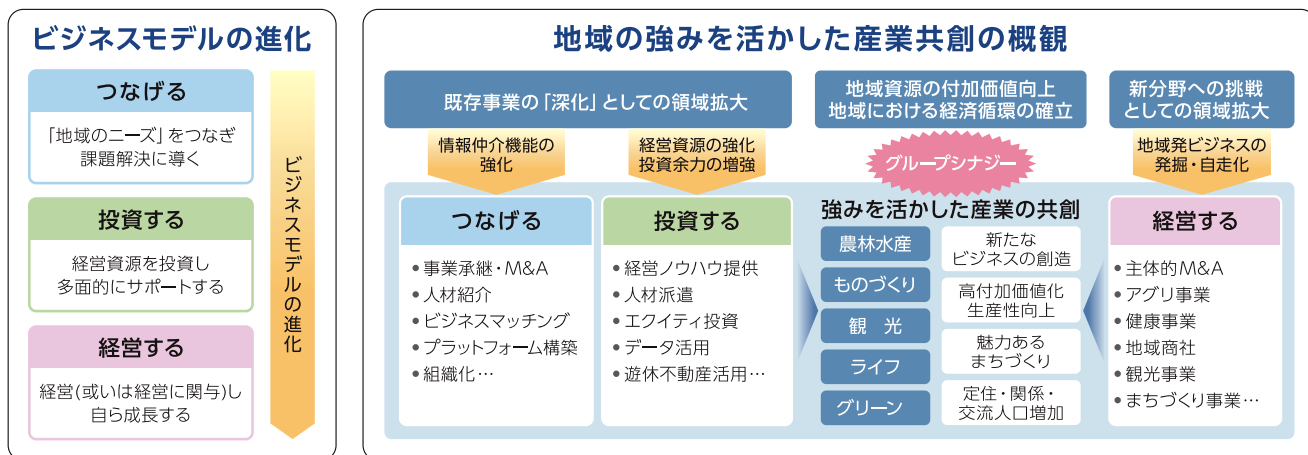
グループ基盤の強化

- ⑨ 人材力の強化
- ⑩ 有価証券運用力の強化
- ⑪ リスク管理態勢の強化
- ⑫ ガバナンス体制の強化
- ⑬ その他サステナビリティ等の取り組み強化

事業領域拡大に向けた取り組み

■ 地域資源の付加価値向上と地域経済循環の確立に向けた取り組み 「地域バリューアップモデル」

地域金融機関の従来の「つなげる」、「投資する」機能を深化させ、自らが「経営する」というビジネスモデルへ進化させることで、地域の強みを活かした産業の共創を目指しております。この実現のため、実装すべき3つの機能を軸とする「地域バリューアップモデル」を策定しました。「挑戦と創造」のブランドコンセプトの下、地域の明るく豊かな未来の創造に向け、取り組みを進めてまいります。



地域バリューアップモデル ~上記の実現に向け実践する3つの取り組み~

既存事業の「深化」(金融仲介機能の強化)

つなげる

投資する

コンサルティングファーム

地域事業者さまの成長に向けてともに歩む
「専門家集団」

人材紹介事業の強化「両手型への参入」

域内人材のマッチングによる
地域にフィットした人材の定着化

新分野への「挑戦」(事業領域の拡大)

経営する

地域バリューアップスタジオ

地域を描く「プロデュース」
自らが担う、創る「ディレクション」

スタートアップスタジオ*のメソッドにより
実現を目指す

*同時多発的に複数の企業を立ち上げ、また、起業家やインベーターが
新しいコンセプトを次々に打ち出すうえで理想的な場を提供する組織。

サステナビリティ方針とSXへの取り組み

■「サステナビリティ方針」

気候変動・脱炭素の問題をはじめ、健康や相対的貧困、ダイバーシティ&インクルージョン等、「サステナビリティ」への関心は高まる一方です。当方針は、そのような環境下、持続可能な社会の実現に向けたプロクレアホールディングスとしての今後の取り組みの方向性を内外に示すものとして位置付けております。

「プロクレアホールディングス サステナビリティ方針」

彩り豊かな未来を、次の世代に

私たちは、愛する“ふるさと”を美しいまま次の世代に受け継いでいくため、彩り豊かな未来の創造に向けて挑戦してまいります。地域におけるあらゆる課題や無限の可能性と向き合い、環境、社会、ガバナンスの観点から持続可能な事業活動を通して皆さまとともに歩み続けます。



ステークホルダーとの
お約束

自然・環境

環境保全と調和した地域経済の成長を目指し、気候変動や自然への影響を常に意識しながら事業活動に取り組んでまいります。

地域社会

自然資本・人的資本の価値が最大限発揮され、ますます魅力あふれる社会となるよう、皆さまとのコミュニケーションを大切に地域社会の発展に貢献いたします。

お客さま

お客さまの最良のパートナーとして、社会の変化に対応しながら、常にお客さまに安心かつ最適なソリューションを提供いたします。

従業員

役職員一人ひとりが健康で自分らしくいきいきと働き続けられ、多様な活躍ができる会社づくり・組織風土づくりを進めてまいります。

株主・投資家

地域の皆さまとともに発展し、すべてのステークホルダーより高い信頼を寄せられる、魅力ある企業であり続けます。

■「SX推進委員会」および「SX推進室」の設置

「プロクレアホールディングス サステナビリティ方針」のもと、環境問題やSDGs、ESGを含むサステナビリティに関する取り組みの推進・強化に向けたガバナンス体制を整備することを目的として、2023年3月、取締役会監督下、当社社長を委員長とする「SX*推進委員会」を設置しました。SX推進委員会ではSX推進に係る方針や戦略、SX推進関連施策の進捗状況、TCFD対応の取組状況などについて審議を行います。また、SX推進委員会設置と同時に、当社SX推進の実行組織として経営企画部内に「SX推進室」を設置しました。

このような推進体制のもと、今後も地域の持続可能な発展に積極的に貢献し、それらを自らの成長につなげていきます。

※SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)とは

社会のサステナビリティと企業のサステナビリティを「同期化」させていくこと、及びそのために必要な経営・事業変革(トランスフォーメーション)を指す。社会のサステナビリティと企業のサステナビリティの同期化とは、企業が社会の持続可能性に資する長期的な価値提供を行うことを通じて、社会の持続可能性の向上を図るとともに、自社の長期的かつ持続的に成長原資を生み出す力(稼ぐ力)の向上と更なる価値創出へとつなげていくことを意味する。

(伊藤レポート3.0(SX版伊藤レポート) サステナブルな企業価値創造のための長期経営・長期投資に資する対話研究会(SX研究会)報告書、経済産業省、2022年8月30日 より引用)

サステナビリティに関する取り組み

スタートアップによる青森創生 ～プロクレアHD地域創生ファンドのミライ～

2023年6月、プロクレアHDとスパークル株式会社は、ねぶたの家ワ・ラッセ（青森市）にて、パネルセッション等を通じて地域発のスタートアップ創出や事業者の新ビジネス挑戦を後押しすることを目的とした「スタートアップによる青森創生～プロクレアHD地域創生ファンドのミライ～」を開催しました。来場者、Web視聴者合わせて約400名を超える幅広い層の皆さまに参加いただきました。



みらい共創塾2023

2023年5月、青森銀行とみちのく銀行は、青森銀行本店（青森市）にて、地域で活躍されている若手経営者や次世代経営者、後継者の皆さま向けの研修「みらい共創塾2023」を開講しました。本研修は12月まで行われ、次世代の経営者の方々に、組織をリードし成長し続けるために必要な基礎的知識・スキルを体系的に習得していただく内容で、両行の営業地域内より参加者27名が計10回の講義やグループワーク等実践的なプログラムを通して幅広い分野について学んでいます。



ベストマッチ♥オンライン商談会 ～近畿エリア編～

2023年5月、青森県産品を取扱う事業者の国内販路開拓支援として、両行と日本政策金融公庫は共催で「ベストマッチ♥オンライン商談会～近畿エリア編～」を開催しました。この商談会は青森県の食品製造業者等の売り手を、近畿地区の小売業者等に引き合わせるオンライン商談会で、参加事業者の募集をそれぞれの地元金融機関が担当し、共同して開催する初の商談会となりました。当日は、両行の取引先27事業者が近畿地区のバイヤー16社に自社商品の魅力をPRしました。



青森グラフィックデザイナーの一年展2023

2023年9月、青森県立美術館（青森市）にて、両行と日本グラフィックデザイン協会青森地区は「青森グラフィックデザイナーの一年展2023」を共催しました。地元デザイナーと地域企業の共創をテーマとした事業者マッチングをメインとし、企業ブランドデザインの事例紹介や青森県内で活動するグラフィックデザイナーの作品展示などを行いました。



ローン専門拠点共同店舗オープン（青森・弘前・八戸）

両行のローン専門拠点について、一部共同店舗として運営を開始し、より多くのお客さまに幅広くご利用いただいております。両行では、共同店舗化を機に組織融和をさらに深めてまいります。



【青森地区】（青森市橋本1丁目4-10）

- ・青森銀行ローンデスク青森中央
- ・みちのく銀行ローンスクエア青森



【弘前地区】（弘前市大字土手町211-1）

- ・青森銀行ローンデスク弘前上土手町
- ・みちのく銀行ローンスクエア弘前



【八戸地区】（八戸市田向3丁目1-57 2F）

- ・青森銀行ローンデスク八戸田向
- ・みちのく銀行ローンスクエア八戸

青森ねぶた祭特集 ～大型ねぶた運行に初参入!～



2023年8月、私たちの団体「プロクレアねぶた実行プロジェクト」が青森を代表する夏祭り「青森ねぶた祭」の大型ねぶた運行に初参入いたしました。人口減少や少子高齢化という厳しい社会環境にある中、「次の世代のために、地域とともに彩り豊かな明るい未来を創造し続けていきたい」という想いを強く抱き、その具現化の一つとして取り組んだものです。記念すべき初陣となった今年の運行の様子や、ねぶたの制作過程等をお届けいたします!

青森ねぶた祭とは

東北三大祭りの1つで国の重要無形民俗文化財に指定されている、青森県を代表する夏祭りです。毎年8月2日～7日までの6日間開催され、歌舞伎や歴史・神話を題材とした「人形ねぶた」と呼ばれる山車や“ラッセラー、ラッセラー”と掛け声を上げながら踊り歩く「跳人」、ねぶた囃子を演奏する「囃子方」等が青森市内の目抜き通りを練り歩きます。2023年は、全国・世界各地から延べ約101万人の観光客が訪れました。

ねぶた紹介

題材:「大日大聖不動明王」

制作者:野村 昂史(竹浪比呂央ねぶた研究所)

込められた想い:題材となった「大日大聖不動明王(だいにちだいしょうぶどうみょうおう)」は、密教における仏の最高位、大日如来の化身とされています。不動明王はあまねく者に苦難を乗り越える力を与え、願いを達成させる慈悲深く尊い存在であり、このねぶたは、不動明王があらゆる困難から果敢に挑む者を守る場面を表しています。「挑戦と創造」を旗印に銀行合併や、その先の地域の持続的成長に向け取り組むプロクレアホールディングスに対し、加護を与えその実現を後押ししたいという制作者の想いが込められています。



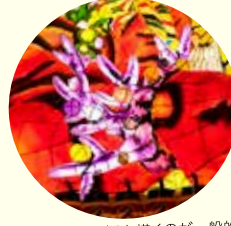


野村先生は今年「優秀制作者賞」を受賞しました！この大型ねぶたは、ねぶたの家 ワ・ラッセ(青森市)にて2024年8月上旬まで展示されています。



ねぶたの後ろ側「見送り」

大きな日の出とともに現れた猿田彦大神。日の出は〈プロクレアオレンジ〉、猿田彦大神の衣装は〈プロクレアネイビー〉を連想させる鮮やかな色彩で表現されています。また、両脇にある夫婦岩は、青森銀行(左:赤い岩)とみちのく銀行(右:緑の岩)をイメージし、両行の融和が表現されています。



注目ポイント

この題材では、龍とともに「波」を描くのが一般的ですが、野村先生オリジナルの表現としてホタテ貝やサング、海藻などの「海のモチーフ」が描かれています！

Check!



プロクレアねぶた実行プロジェクトでは、Instagramで「プロクレアねぶた」に関する情報を発信しています！ぜひご覧ください！



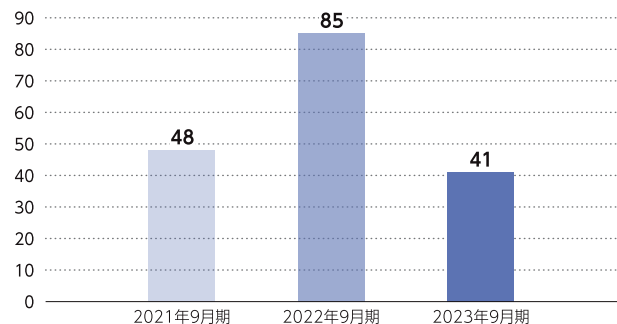
#PROCRA_NEBUTA_RJ

業績ハイライト(2行合算)

コア業務純益の状況

コア業務純益は、有価証券利息配当金の減少による資金利益の減少や役員利益の減少等により、前年同期比43億円減益の41億円となりました。

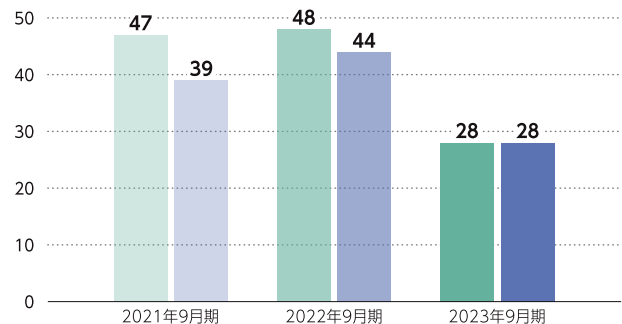
(単位:億円)



経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、有価証券関係損益が増加したものの、コア業務純益の減益により、前年同期比19億円減益の28億円となりました。また、中間純利益についても、前年同期比16億円減益の28億円となりました。

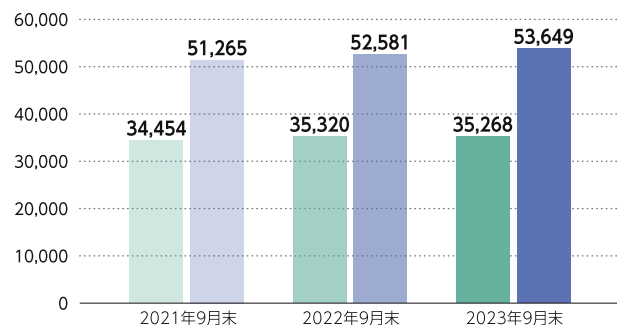
(単位:億円)



預金(譲渡性預金を含む)の状況

2023年9月末の譲渡性預金を含む総預金は、法人預金及び公金預金が順調に推移し、前年同期末比1,067億円増加の5兆3,649億円となりました。

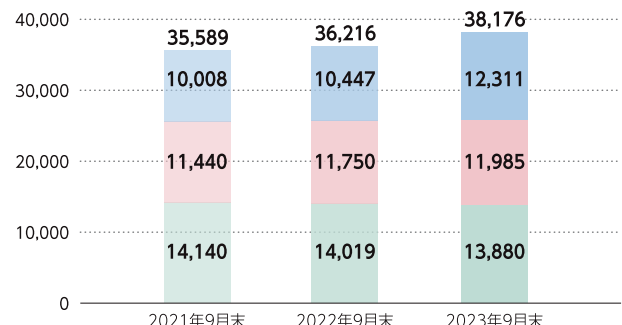
(単位:億円)



貸出金の状況

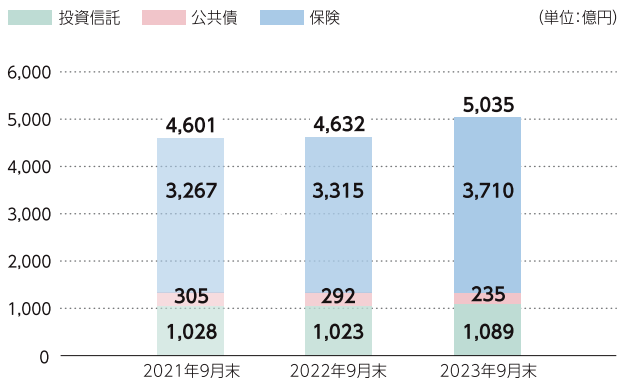
2023年9月末の貸出金は、住宅ローンを中心とした個人ローン及び公共貸出の増加により、前年同期末比1,960億円増加の3兆8,176億円となりました。

(単位:億円)



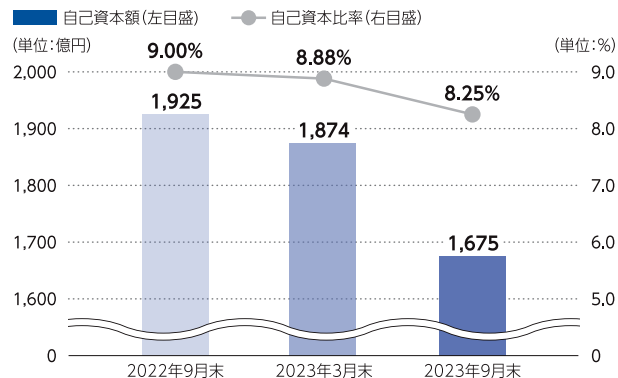
預かり資産の状況

2023年9月末の預かり資産残高は、公共債は減少したものの投資信託や保険が増加したことから、前年同期末比403億円増加の5,035億円となりました。



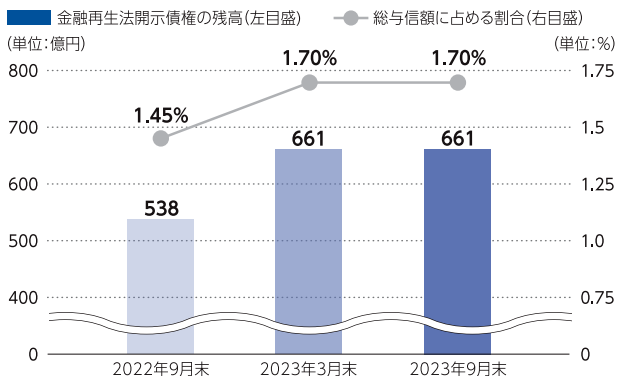
自己資本比率の状況

2023年9月末の連結自己資本比率は、公的資金の返済による自己資本額の減少を要因として、前年度末比0.63%低下の8.25%となりましたが、引き続き国内水準である4%を大きく上回る水準を確保しております。



金融再生法開示債権の状況

当中間期末の金融再生法開示債権は、破産更生債権及びこれらに準ずる債権が増加した一方、危険債権及び要管理債権が減少したことにより前年度末と同水準の661億円となりました。また、与信総額に占める開示債権の比率についても前年度末と同水準の1.70%となりました。



用語解説

■ コア業務純益

預金・貸出・為替業務など銀行の本来業務から得られる収益力を示しています。

■ 経常利益

コア業務純益に有価証券関係損益や与信費用(不良債権処理に関する費用など)を加減した利益です。

■ 中間純利益

経常純益に特別利益や税金などを加減した最終的な利益です。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

第2期 中間連結貸借対照表 (2023年9月30日現在)

		(単位：百万円)	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	1,153,836	預金	5,036,626
コールローン及び買入手形	5,000	譲渡性預金	310,675
買入金銭債権	4,839	コールマネー及び売渡手形	2,900
金銭の信託	19,793	借入金	447,149
有価証券	894,958	外国為替	31
貸出金	3,778,106	その他負債	26,328
外国為替	3,299	賞与引当金	1,327
リース債権及びリース投資資産	33,835	役員賞与引当金	14
その他資産	68,882	退職給付に係る負債	228
有形固定資産	27,609	役員退職慰労引当金	5
無形固定資産	4,556	株式給付引当金	329
退職給付に係る資産	5,928	睡眠預金払戻損失引当金	262
繰延税金資産	11,557	偶発損失引当金	374
支払承諾見返	22,926	再評価に係る繰延税金負債	1,394
貸倒引当金	△ 20,454	支払承諾	22,926
投資損失引当金	△ 197	負債の部 合計	5,850,575
		(純資産の部)	
		資本金	20,000
		資本剰余金	28,151
		利益剰余金	123,747
		自己株式	△ 600
		株主資本合計	171,298
		その他有価証券評価差額金	△ 10,997
		繰延ヘッジ損益	1,587
		土地評価差額金	2,268
		退職給付に係る調整累計額	△ 256
		その他の包括利益累計額合計	△ 7,397
		純資産の部合計	163,901
資産の部合計	6,014,477	負債及び純資産の部合計	6,014,477

第2期 中間連結損益計算書 (2023年4月1日から2023年9月30日まで)

		(単位：百万円)	
科目	金額	科目	金額
経常収益		34,233	
資金運用収益	19,864		
(うち貸出金利息)	(16,965)		
(うち有価証券利息配当金)	(2,383)		
役員取引等収益	6,610		
その他業務収益	111		
その他経常収益	7,646		
経常費用	32,433		
資金調達費用	235		
(うち預金利息)	(57)		
役員取引等費用	2,877		
その他業務費用	772		
営業経費	21,000		
その他経常費用	7,547		
経常利益	1,800		
特別利益	43		
特別損失	67		
税金等調整前中間純利益	1,776		
法人税、住民税及び事業税	567		
法人税等調整額	△ 428		
法人税等合計	139		
中間純利益	1,637		
親会社株主に帰属する中間純利益	1,637		

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結財務諸表の作成方針

子会社、子法人等の定義は、銀行法第2条第8項及び銀行法施行令第4条の2に基づいています。

1 連結の範囲に関する事項

- (1) 連結される子会社及び子法人等 11社
- 株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・青銀甲田株式会社・あおぞんカードサービス株式会社
 - あおぞんリース株式会社・あおぞん信用保証株式会社・あおもり創生パートナーズ株式会社
 - みちのくリース株式会社・みちのく信用保証株式会社・みちのくカード株式会社・みちのく債権回収株式会社
- (2) 非連結の子会社及び子法人等 2社
- みちのく地域活性化投資事業有限責任組合・プロクレアHD地域共創ファンド投資事業有限責任組合

2 持分法の適用に関する事項

- 持分法非適用の非連結子会社 2社
- みちのく地域活性化投資事業有限責任組合
 - プロクレアHD地域共創ファンド投資事業有限責任組合

3 連結される子会社及び子法人等の中間決算日等に関する事項

- 連結される子会社及び子法人等の中間決算日は次のとおりです。
9月末日 11社

株式情報

株式の情報

(2023年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数

- 普通株式 60,000千株
- 第一種優先株式 13,800千株

発行済株式の総数

- 普通株式 28,658千株

株主数

- 普通株式 40,441名

大株主

普通株式

株主名	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,943	10.28%
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,445	5.05%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,425	4.98%
明治安田生命保険相互会社	544	1.90%
日本生命保険相互会社	478	1.67%
青森銀行職員持株会	373	1.30%
住友生命保険相互会社	338	1.18%
損害保険ジャパン株式会社	315	1.10%
INTERNATIONAL CORE EQUITY PORTFOLIO DFA INVESTMENT DIMENSIONS GROUP INC	261	0.91%
田中建設株式会社	257	0.89%

※持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
※持株比率は、自己株式を控除のうえ算出しています。

株主優待制度

■ 青森県を中心とした地元の特産品等を掲載したカタログより、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。

保有株式数	保有期間	優待品の金額
100株以上1,000株未満	1年以上継続保有 [※]	3,000円相当
1,000株以上	1年以上継続保有 [※]	6,000円相当

※1年以上継続保有とは、「当年3月末日現在の株主名簿に記載、または記録され、かつ同一株主番号で前年の3月末日および9月末日の株主名簿に記載、または記録されていること」といたします。

株式のご案内

(2023年9月30日現在)

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年です。

定時株主総会

毎事業年度終了の翌日から3ヵ月以内に開催します。

基準日

定時株主総会については、毎年3月31日とします。
その他必要があるときは、あらかじめ公告します。

配当金

期末配当金は、株主総会の決議によって、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、株主総会終了後お支払いします。

中間配当金は、取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、お支払いします。

単元株式数

当社の単元株式数は100株です。

公告方法

電子公告とします。なお、電子公告は当社ウェブサイト(<https://www.procrea-hd.co.jp/>)に掲載します。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

- 株主名簿管理人事務取扱場所
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先および電話照会先
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

株式取扱手数料

株式取扱規程に定める手数料を申し受けます。



プロクレアホールディングス

発行／株式会社プロクレアホールディングス 経営企画部

〒030-0823 青森県青森市橋本一丁目9番30号(本社) TEL 017-777-5111

URL <https://www.procrea-hd.co.jp> メールアドレス kouhou@procrea-hd.co.jp

(この小冊子は、商品勧誘を目的とするものではありません。)

※ 森林認証を受けた「環境にやさしい」用紙を使用しています。